

第12回 卒業証書授与式

3月1日(月)、第12回卒業証書授与式を挙行了しました。卒業生の25名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。柳校長からは、式辞の中で「いついかなる時も、利他の心、を自らの生き方の拠り所としてください。なぜなら、皆さんがこの学舎で学んだ『家庭科』は、誰かの幸せを支え、演出する学問・技術であると同時に、『思想』そのものだからです」、「誰かの幸せのために力を尽くすこと、誰かの喜びのための『ひと手間』の工夫に、自らの喜びと幸せを見出せる生き方、この『真心を尽くす』という生き方はこれからの日本人にとって何よりも大事な生き方だと私は思っています。」と、はなむけの言葉がありました。また、答辞では卒業生代表の東佑衣さんから、学校生活での思い出やお世話になった方々への感謝の気持ちとともに、「たくさんの感謝を胸に、私たちはこの海南下津高等学校を巣立ち、新たな道を歩んでいきます。この高校生活で得た多くの経験と、仲間との思い出を力に変え、どんな壁も乗り越えてゆきたいと思います。」という力強い決意が述べられました。

本来であれば、在校生も出席して卒業証書授与式を挙行するところですが、感染症対策のため、生徒会の4名が代表で出席する形となりました。直接、「おめでとう」「ありがとう」とお祝いの言葉や感謝の言葉を伝えられなかったと思いますが、叶わなかった分、生徒会主催で「卒業生を送る会」が開催され、在校生の皆さんのビデオメッセージが流れました。在校生の皆さんの想いはきっと卒業生に届いたことでしょう。また、「卒業生を送る会」では、卒業生の3年間の思い出を綴った記念スライドも上映され、たくさんの思い出をかみしめながら、拍手の中、卒業生は学舎を巣立っていきました。改めて、

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの今後のご活躍を心からお祈りします。

在校生の皆さんは、卒業生が残してくれた海南下津高等学校の素晴らしい伝統を引き継ぎ、日々精進していきましょう！



卒業生体験講話「ようこそ先輩」

3月22日(月)、在校生の進路選択の参考にと、本校11期生(R2.3月卒業)の三宅咲来さんと、寺西瑠菜さんを招いて、お二人の進学先での学校生活や高校時代の思い出などを話していただきました。その中で語られた「相談は親より先生!!」「悪いことは言わないから、先生の言うことを聞いておけ!!」というメッセージには、先輩方の話を真剣に聞き入っている在校生の傍らで、参加していた先生方も身の引き締まる思いでした。

